

ICTで 授業 をDX!

学年 中学校 1年 教科 技術 など

「振り返り・模範演技・情報共有」を分かりやすく!

使用するアプリケーション等
 ・ Google Classroom
 ・ Google Jamboard

単元・題材 組立てと仕上げ

本時の目標 工具の正しい使い方を意識して安全に接合をするともに、接合に対する意識の共有をすることができる。(知識及び技能・思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・ Google Classroomに課題テストを入れることで、授業の始めに短時間で前時の振り返りができ、これから行われる作業の確認をすることができる。
- ・ Google Classroomにくぎ打ちの模範演技を入れておくことで、好きなタイミングで模範演技を自席にて自由に見ることができ安全に正しい使い方を意識することができる。
- ・ Google Jamboardを使用して、「くぎ打ちをしてみよう」の良かった所、悪かった所を付箋で貼っていくことで考えていることなどを視覚で共有することで自分の問題点としても考え直すことができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ① 小テストや口頭で前時の内容を確認する。

2 展開

めあて	安全に正しく正確に釘打ちするためにはどうすればいいか考えよう。
課題	安全な工具の使い方や、正しく正確に釘打ちをするためにはどうしたらいいか。

- ① 正しい工具の使い方の模範演技
 - 教員が釘打ちしている様子を見る
- ② ペアで釘打ちしている様子を見合う
 - 順番に釘打ちをしていく
 - ペアの打ち方を見て、良かった点や改善点を記入してあげる
- ③ クラスで情報の共有をする。
 - 指名された代表生徒は自分の記入したこと等を発表する

3 まとめ

正しい知識の確認を事前に行い、安全な工具の使い方を見て意識をしながら作業することが大切である。また、自分の考えだけでなく他人の意見を取り入れることでさらに問題解決に近づけられる。

- ① ペアが書いてくれたことをしっかりと読んで自分に生かそうとしている。
 - プリントに書かれていることを見て、自分の行動について記入をする
- ② 本時の振り返りについてプリントに記入する。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① Google Classroomに入っている課題テストを行う。(4点×5問 ※3択問題。最後の問題のみ記述で行う。)
 - テストで間違った所を自分で意識して行動できるようにする。
 - 教員はなぜその答えになるかを口頭で確認していく。

2 展開

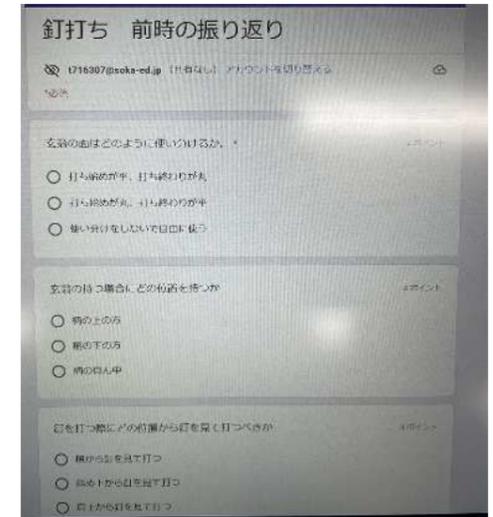
めあて	安全に正しく正確に釘打ちするためにはどうすればいいか考えよう。
課題	安全な工具の使い方や、正しく正確に釘打ちをするためにはどうしたらいいか。

- ① Google Classroomに動画を載せておき、その動画を各自で見ると。
 - 作業の手順や工具の使い方を確認する。
- ② ペアで釘打ちの作業をさせ、良かった所と改善するとよい所をそれぞれ記入する。
- ③ 班で1台端末を用意し、班ごとに釘打ちをしていて良かった所と改善するとよい所をGoogle Jamboardに付箋で貼っていく。
- ④ 班ごとに書いた内容を発表していく。
 - 発表は、大型テレビにGoogle Jamboardを映して全体と意見を共有できるようにしておく。

3 まとめ

正しい知識の確認を事前に行い、安全な工具の使い方を見て意識をしながら作業することが大切である。また、自分の考えだけでなく他人の意見を取り入れることでさらに問題解決に近付けられる。

- ① Google Jamboardで出し合った意見から安全な工具の使い方と正しく正確に釘打ちをするための意識の2つに分けて整理をする。
- ② 分けた2つを見ながら本時の振り返りをGoogle Classroomに記入して提出する。



授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ 作業時間を多くとることができ、落ち着いて作業をさせることができた。
- ・ 自分のタイミングで何度も動画で使い方等を見られるため、安全に正しい工具の使い方を意識することができ、正しく正確に釘打ちをできていた生徒が多かった。
- ・ 以前の学習ではクラス全員分の意見を見聞きすることがなかったが、Google Jamboardを活用することで全員の意見を共有することができた。